

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	弘前大学	個人・グループ名	山崎総一郎	作品名	アオダモバット
-----	------	----------	-------	-----	---------

### ○製作の動機

小、中、高と約10年間野球を続けて来中でこれまでいくつかのバットを使っていた。しかし、手になじみ、振り抜きやすく、しっくりくるバットに出会うのは非常に難しい。それもそのはず、バランス、長さ、グリップの形状等いくつかの条件がそろって初めて自分に最もあったバットとなりうる。また、金銭的に新しいバットを購入するのは難しいため、ならば自分でオリジナルオーダーバットを作ってしまうと決心した。



### ○利用方法

- ・野球の試合、練習時の打撃に
- ・自宅での素振りに



### ○工夫したポイント

- ①木工旋盤を使って少しずつ削るのだが、刃は手でおくっていくので深く入り引かからないように慎重に削った。
- ②実際のバットの直径をノギスで計測しながら作製した。
- ③途中で何度か素振りをし、バットのバランスを感じながら製作した。



### ○製作を終えて

実際に野球の試合で使用したが、よく手になじみとても振り抜きやすいバットを製作することが出来た。今シーズン3本のホームランを打つことが出来たのもこのバットのおかげだと感じている。

